

(Ⅲ) 注 記 事 項

I 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1 資産の評価基準及び評価方法
貯蔵品 先入先出法による原価法によっている。

2 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産		・主な耐用年数	
・減価償却の方法		建物	15年～45年
量水器を除く資産	定額法	構築物	40年
量水器	取替法	機械及び装置	9年～20年
		量水器	8年
(2) 無形固定資産			
・減価償却の方法	定額法		
・主な耐用年数	20年		

3 引当金の計上方法

- (1) 賞与引当金
- ・職員の期末勤勉手当及びこれに係る法定福利費の支払に備える為、当事業年度末における支払見込額に基づき、翌年度の支払見込額のうち当事業年度の負担に属する額を計上している。
- (2) 貸倒引当金
- ・債権の不納欠損による損失に備える為、実績率等による回収不能見込額を計上している。
- (3) 退職給付引当金
- ・職員の退職手当は、宮城県市町村職員退職手当組合に加入積立しており、不足額等が発生したときには一般会計がその金額を負担することとなっているため、退職給付引当金は計上していない。
- (4) 特別修繕引当金
- ・設備等に係る定期修繕費用の支出に備えるため、支出見込額のうち当事業年度の負担に属する額を均分して計上している。

4 その他会計に関する書類のための基本となる重要な事項

- (1) 消費税及び地方消費税の会計処理
- ・消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式による。
- (2) リース契約により使用する固定資産
- ・所有権移転外ファイナンス・リース取引については、リース会計の特例により通常の借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係る未経過リース相当額	
1年内	7 250,761
1年超	2 752,281
計	2 103,041

II セグメント情報の開示

- 1 報告セグメントの概要
- 富谷市水道事業では、水道事業のみを運営しており、事業全体を一つのセグメントとして区分している。